

2019年度 全日本大会担当審判員研修会

第44回 日本ハンドボールリーグレフェリー選考研修会

◎1日目研修

日程：6月22日（土） 13：00～

場所：@味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室およびハンドボール専用コート

○研修内容

- ・演習—シャトルランテスト・ルールテスト・映像テスト・オープンブックテスト
- ・研修—判定基準の統一①

〈判定基準の統一①〉

チーム・プレーヤーにトレーニングの成果を存分に発揮させる

1 これまでの競技規則改定の流れをつかんでおく ※2016年7月競技規則改定
〈改定のポイント〉

- ・明らかな得点チャンスの定義
- ・GKとCPの交代
- ・負傷者に対する処置
- ・パッシブプレー
- ・競技終了30秒間
- ・ブルーカード

2 ラフプレーとスポーツマンシップに反する行為を排除する。

映像（日本ハンドボール協会YouTubeにある）見ながら説明ありました。

ディフェンスの位置・オフenseファール

3 それぞれのカテゴリーに相応しい競技運営を心がける。

少年には少年の・・・

成年には成年の・・・

それぞれの目線に立った競技運営を心掛ける。

特に少年カテゴリーは何も文句を言わないからといってなんでもフリースローにしてオフense有利の笛にしていますか？

今日の研修160名はほぼアンダーカテゴリーの笛を吹く人達が多く参加しているのでチーム戦術を良く理解する事も大事。

◎ 2 日目研修

日程：6 月 2 3 日（日） 9：00～

場所：@味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室

○研修内容

- ・ 研修一判定基準の統一②

〈判定基準の統一②〉

1 7m スローの判定 競技規則 14 の 1

接触のスタートがどうであったか確認すること

上半期総括から、防御側との接触のスタートが正しく見極められていないケースがある。

競技規則 6 の 2 a.b.c

コートプレーヤーがゴールエリアに侵入したときを確認

※まずは防御側を先に観察すべき

2 求められている物を知りそれを発揮する。

アンダーカテゴリーに相応しい競技運営を心掛ける。

3 レフェリーに求められるもの 10 箇条

今回は 4 箇所だけありました。

①リーダーシップ

無駄な中断をさせない→モダンハンドボール

ボディランゲージを用いて、チーム・監督等に基準等を明確に伝える努力。

どのようなゲームをさせたいかというハンドボール感あるいは理念を持たなければならない。

②誠実さ

特に初心者のプレイほど丁寧に吹笛する必要がある。例) 7 m スローのラインクロス

スローの実施に関する一般的な指示 15 条

言葉を使って教えていく目線を持つ！

③ルールに関する知識 ※ルールを熟知していること。さらにその根底にある意図・思想を理解する。

④冷静さの説明がありました。

4 競技規則にジェスチャー に関する事書いてあります。一回だけやる

競技規則ジェスチャー p58 確認しているか。

ジェスチャー12・15・16 は該当する場合に必ず用いる。

12 得点

15 タイムアウト

16 タイムアウト中における2名のコートへの入場許可

ジェスチャー8・10・17 はレフェリーが必要と考えた場合に用いる。

8 ゴールキーパーズロー

10 3mの距離の確保

17 パッシブプレーの予告合図

試合終了後 公式用紙に正しく記入されているかどうか確認すること。サインして感謝の気持ちを持って対応しましょう。

5 日本リーグレフェリーはアクティビティレポート用紙提出となっている。半年に1回提出。

レフェリーも各自で責任持ってトレーニング

6 試合前のウォーミングアップを入念に行う

ハーフタイムで走る、選手とコミュニケーションをとる。

テーブルの方々とのコミュニケーション。

装飾品の管理、特に女子のヘアピンはケガ事案が発生している。金属製のむき出しは禁止となっている。

7 パッシブプレー 競技規則 7の11・12

映像を、見ての解説。一つは攻撃側の攻撃が始まるのはいつかを考える。笛から始まるわけではない…となると。

ほかにも攻撃側が遠くにボールを投げ捨ててかえる状況も最近多く見受けられる。2015年にこんな状況が起こっているという通達があった。これは今後また全国から情報を集めてどう対処するか決める。

まとめ

研修中に一番印象に残った言葉（神田個人の見解）としては、「スポーツの考え方」が挙げられます。それをどのように理解するか。そこを出発点としてモダンハンドボールを理解していく中で、レフェリーとして必要なものは何かを学んだ二日間でした。

資料を見たいやご意見ご質問ありましたら、鹿協会審判部はじめ以下の4名に問い合わせください。今回の参加者は（永吉・井料ペア、山下・神田ペア）です。

